

定期予防接種の種類・接種対象年齢・標準的な接種時期及び回数

※「接種対象年齢」とは、法律で接種ができる年齢で、標準的な接種年齢・間隔」とは、より望ましい接種年齢・間隔のことです。

○ヒブ（インフルエンザ菌b型）

【接種年齢】 生後2カ月以上5歳未満

【標準的な接種年齢】 初回接種の開始が生後2カ月以上7カ月未満

接種開始月齢（年齢）	接種回数	接種間隔
生後2カ月以上7カ月未満 【標準的な接種年齢】	4回	<p>【初回接種】 27日以上、標準的には27日から56日までの間隔をおいて3回接種 ※初回2回目および3回目は1歳未満までに終了させる。 ※初回2回目および3回目が1歳を超えた場合は行わない。（追加接種は可能）</p> <p>【追加接種】 初回接種終了後7カ月以上、標準的には7カ月から13カ月までの間隔をおいて1回接種 ※初回2回目および3回目を接種せずに1歳になった場合は、1歳未満で接種した初回接種の最終接種から27日以上あけて追加接種を行う</p>
生後7カ月以上1歳未満	3回	<p>【初回接種】 27日以上、標準的には27日から56日までの間隔をおいて2回接種 ※初回2回目は1歳未満までに終了させる ※初回2回目が1歳を超えた場合は行わない（追加接種は可能）</p> <p>【追加接種】 初回接種終了後7カ月以上、標準的には7カ月から13カ月までの間隔をおいて1回接種 ※初回2回目を接種せずに1歳になった場合は、1歳未満で接種した初回接種の1回目から27日以上あけて追加接種を行う</p>
1歳以上5歳未満	1回	1回接種

○ B型肝炎

接種年齢	接種回数	接種間隔
1歳未満 【標準的な接種年齢】 生後2カ月以上9カ月未満	3回	27日以上あけて2回接種 1回目接種から139日（20週）以上あけて3回目を接種

○小児用肺炎球菌

【接種年齢】 生後2カ月以上5歳未満

【標準的な接種年齢】 初回接種の開始が生後2カ月以上7カ月未満

接種開始月齢（年齢）	接種回数	接種間隔
生後2カ月以上7カ月未満 【標準的な接種年齢】	4回	<p>【初回接種】</p> <p>標準的には1歳までに、27日以上の間隔をおいて3回接種</p> <p>※初回2回目および3回目は2歳未満（標準的には1歳未満）までに終了させる</p> <p>※初回2回目および3回目が2歳を超えた場合は行わない（追加接種は可能）</p> <p>※また、初回2回目が1歳を超えた場合は行わない（追加接種は可能）</p> <p>【追加接種】</p> <p>初回接種終了後60日以上の間隔をおいて1歳以降、標準的には1歳以上1歳3カ月未満に1回接種</p>
生後7カ月以上1歳未満	3回	<p>【初回接種】</p> <p>標準的には1歳までに、27日以上の間隔をおいて2回接種</p> <p>※初回2回目は2歳未満（標準的には1歳未満）までに終了させる</p> <p>※初回2回目が2歳を超えた場合は行わない（追加接種は可能）</p> <p>【追加接種】</p> <p>1歳以降、初回接種終了後60日以上の間隔をおいて1回接種</p>
1歳以上2歳未満	2回	60日以上の間隔をおいて2回接種
2歳以上5歳未満	1回	1回接種

○ロタウイルス

接種年齢	接種回数	接種間隔
1価（ロタリックス） 生後6週0日から24週まで	2回	27日以上あけて2回接種
5価（ロタテック） 生後6週0日から32週まで	3回	27日以上あけて3回接種
<p>※どちらかのワクチンを選び、原則同じワクチンで決められた回数を接種してください。</p> <p>※どちらのワクチンも1回目の接種は14週6日後までに接種してください。</p>		

○BCG

接種年齢	接種回数
1歳未満 【標準的な接種年齢】 生後5カ月以上8カ月未満	1回

○水痘

接種年齢	接種回数	接種間隔
1歳以上3歳未満 【標準的な接種年齢】 1回目は1歳以上1歳3カ月未満	2回	1回目の接種後3カ月以上、標準的には1回目の接種後6カ月から12カ月までの間隔をおいて2回目を接種

○四種混合（DPT-IPV：ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ混合）、ポリオ（IPV：不活化ポリオ）

接種年齢	接種回数	接種間隔
生後2カ月以上7歳6カ月未満 【標準的接種年齢】 1期初回は生後2カ月以上1歳未満	4回	【1期初回】 20日以上、標準的には20日から56日までの間隔をおいて3回接種 【1期追加】 1期初回の3回目終了後6カ月以上、標準的には12カ月から18カ月までの間隔をおいて1回接種

○二種混合

四種混合又は三種混合の2期となります。

OMR（麻しん風しん混合）、麻しん、風しんの単抗原

接種年齢	接種回数
1期：1歳以上2歳未満	1回
2期：5歳以上7歳未満で小学校入学前の1年間 ※就学前となる年長時期の4月1日から翌年3月31日までの間	1回

○日本脳炎

接種年齢	接種回数	接種間隔
生後6カ月以上7歳6カ月未満 【標準的接種年齢】 1期初回は3歳以上4歳未満、1期追加は4歳以上5歳未満	3回	【1期初回】 6日以上、標準的には6日から28日までの間隔をおいて2回接種 【1期追加】 1期初回の2回目終了後6カ月以上、標準的にはおおむね1年あけて1回接種
9歳以上13歳未満 【標準的接種年齢】 9歳以上10歳未満	1回	

【特例対象者】

平成17年度から平成21年度にかけての日本脳炎の予防接種の積極的勧奨の差し控えにより、接種を受ける機会を逸らした方

特例対象者	
平成15年4月2日生まれから平成19年4月1日生まれの方	1期、2期の対象年齢を過ぎた場合でも20歳の誕生日の前日までに接種を受けることができます。

○子宮頸がん予防（HPV：ヒトパピローマウイルス）

【定期接種対象者】

小学校6年生から高校1年生に相当する年齢の女性

標準的接種年齢：中学1年生に相当する年齢の女性

※高校1年生に相当する平成19年度生まれの女性は、令和7年3月31日まで接種ができます

【キャッチアップ接種対象者】

平成9年4月2日から平成19年4月1日生まれに相当する年齢の女性

接種期間：令和4年4月1日から令和7年3月31日まで

ワクチン名	接種回数	接種方法
サーバリックス（2価）	3回	1カ月以上あけて2回、1回目から5カ月以上かつ2回目から2カ月半以上あけて1回 ※標準的な接種間隔：1カ月以上あけて2回、1回目から6カ月以上あけて1回
ガーダシル（4価）	3回	1カ月以上あけて2回、2回目から3カ月以上あけて1回 ※標準的な接種間隔：2カ月以上あけて2回、1回目から6カ月以上あけて1回
シルガード（9価）	2回 または 3回	【15歳になるまでに1回目の接種を受ける場合】 5カ月以上の間隔をおいて2回目を接種 ※標準的な接種間隔：6カ月以上の間隔をおいて2回目を接種 ※2回目接種が、1回目から5月末満であった場合は、3回目の接種は、2回目の接種から少なくとも3カ月以上の間隔をおいて接種 【15歳になってから1回目の接種を受ける場合】 1カ月以上あけて2回、2回目から3カ月以上あけて1回 ※標準的な接種間隔：2カ月以上あけて2回、1回目から6カ月以上あけて1回

原則として同じ種類のワクチンを接種することをお勧めしますが、医師と相談のうえ、途中から9価ワクチン（シルガード9）に変更し、残りの接種を完了することも可能です。この場合にも、公費で接種できます。

※2価（サーバリックス）または4価（ガーダシル）を接種した後に、9価ワクチン（シルガード9）を接種することに対する効果やリスクについての科学的知見は限定されています。